

レジリエンス研究教育推進コンソーシアム第7回総会議事要旨

- 1 日 時 令和6年5月27日(月) 14時00分～14時55分
- 2 場 所 東京海上日動火災保険株式会社(常盤橋タワー) 10階会議室 & オンライン (Zoom)
- 3 出席者 寶(会長)、甘利(副会長)、遠藤(副会長)、松本(狩矢委員代理)、林、真城、長瀬、舟橋(星川委員代理)、安部、福島、玄地、岡部(山際委員代理)、Li、岡島、大貫(石濱委員代理)
陪席者 小松原(セコム)、小山(NTT)、柴崎(東京海上)、市村(東急総研)、真城(DRI)、頭士(産総研)、松室(防災科研)、松本(〃)、倉谷(〃)、田代(〃)、増田(筑波大学)、栗原(〃)、酒井(〃)、根本(〃)

4 議 事

I. レジリエンス研究教育推進コンソーシアムに係る事案

【審議事項】

(1) コンソーシアムと筑波大学の交流企画について

➤ 第1回「キャリアマッチングデー」準備状況

遠藤副会長から、資料1に基づき次の説明があった。

- ・7月8日(月)開催決定
- ・現時点で5機関が参加予定
- ・6月中に学生に周知し参加者を募集
- ・参加機関には後日事務局よりプログラム詳細・集合時間等を連絡

➤ 第2回の開催時期・内容(意見交換)

遠藤副会長から、資料1に基づき説明があり、意見交換の結果、幹事会で企画を継続検討することとなった。また、次年度に向けた早期の企画立案、及び参画機関の採用スケジュールとの調整の重要性が指摘された。

(主な意見)

・林委員(東京海上)：

「研究教育推進コンソーシアム」の名のとおり1回は研究、1回は教育の企画として、ルーチン化してはどうか。また、前年度のうちに次年度の調整を開始する必要がある。第1回企画は会社人事との調整が間に合わず参加できなかった。第2回目は次年度のキャリア関連イベント開催に向けた種まきの機会と位置付けてはどうか。

・福島委員(電子航法研)：

研究関連イベント(B案)の場合、当研究所では毎年4月1日に当該年度の共同研究契約を行うため、次年度以降の共同研究を目指すとしたら秋～冬の開催が適当。キャリア関連イベントについては、今回はたまたま参加可能な日程だったが、早期の企画・調整が望ましい。

・玄地委員(産総研)：

もう一度キャリア関連イベント(A案)を希望する。年に何回か就職情報提供の機会があると良い。研究マッチングに関しては、博士論文の公聴会等への参加が可能であれば、その場を活用して学生と意見交換したい。

・寶会長(防災科研)：

当研究所では、修士卒の採用を拡大し、働きながら博士を取得してもらうように採用制度を変えることを検討している。A案ならば修士卒者の就職活動のタイミングに合わせた実施を希望する。

・岡部氏（安衛研）：

A～D 案問わず様々な機会を設けていただけると有難い。A・B 案は研究所として参加することになるため研究所のスケジュールに合わせる必要があるが、D 案（参画機関と筑波大専任教員の意見交換会）のような内容であれば有志で参加可能のため調整しやすい。

(2) 令和 6 年度年間活動計画について

➤ 第 17 回運営委員会&参画機関見学会（11 月）

遠藤副会長から、資料 2 に基づき次の説明、及び依頼があった。

- ・開催地未定。開催可能な機関は申し出いただきたい
未開催機関へは個別相談の可能性あり
- ・見学会以外にも機関同士の交流を深めるアイデアを募集

➤ シンポジウム企画（10 月 18 日（金）午後、東京都内）

遠藤副会長から、資料 2 に基づき説明があり、幹事会で企画を継続検討することとなった。

- ・3 年ぶりの単独開催。参画機関が興味を持つテーマ設定が必要
- ・幹事会からは少子高齢化等の社会的課題をテーマとする提案あり

関連して、次の意見があった。

・林委員（東京海上）：

「少子高齢化」には少子化・高齢化・生産年齢人口減少の 3 つが含まれ、それぞれ関連する課題も異なるため、テーマをより絞るべき。

(3) その他

特になし

【報告事項】

(1) 巨大災害研究会・R2EC 合同シンポジウム開催報告について

遠藤副会長から、資料 3 に基づき開催報告があった。

(2) 第 26 回幹事会（R6.3.6）について

遠藤副会長から、資料 4 に基づき議事の報告があった。

(3) 第 27 回幹事会（R6.4.22）について

遠藤副会長から、資料 5 に基づき議事の報告があった。

(4) その他

特になし

II. 筑波大学リスク・レジリエンス工学学位プログラムに係る事案

【審議事項】

(1) その他

特になし

【報告事項】

- (1) 「レジリエンス研究教育推進コンソーシアム活動報告 Vol. 2」刊行について
岡島委員から、資料6に基づき次の報告があった。
 - ・7月刊行予定
 - ・新企画「コンソーシアム会長・前会長・副会長による座談会」記事を掲載

- (2) 令和5年度修了者の進路報告について
岡島委員から、資料7に基づき次の報告があった。
 - ・博士前期課程：1名が参画機関に就職（産業技術総合研究所）
 - ・博士後期課程：2名の参画機関現職者が修了（東急総合研究所・日本自動車研究所）

- (3) 令和5年度コンソーシアム参画機関の修了者数について
岡島委員から、資料8に基づき次の報告があった。
 - ・博士後期課程：2名修了（東急総合研究所・日本自動車研究所、2名とも早期修了）

- (4) 令和6年度コンソーシアム参画機関の学生数について
岡島委員から、資料9に基づき次の報告があった。
 - ・博士前期課程・後期課程ともに今年度入学者は0名
 - ・新規入学者を得るための告知強化が必要

関連して、岡島委員から今年度実施する入試について説明があった。

 - ・7月期入試（令和6年10月入学）：6月3日出願締め切り
 - ・8月期入試（令和7年4月入学）：7月22日出願締め切り
 - ・1-2月期入試（令和7年4月入学）：12月末出願締め切り

- (5) 令和6年度協働大学院教員の指導する学生数について
岡島委員から、資料10に基づき次の報告があった。
 - ・主指導：博士後期課程10名を指導
参画機関外の社会人や一般学生からの主指導希望が増加傾向
 - ・副指導：博士前期課程25名・後期課程32名を指導

- (6) 参画機関向け学位プログラムリーフレット（令和6年度版）の活用について
岡島委員から、資料11に基づき次の報告があった。
 - ・各機関にリーフレット発送済み。機関内で周知願いたい

- (7) その他
特になし

終了後、東京海上日動火災保険(株) 柴崎紘基氏より、同社防災・減災分野の事業紹介があった。

以上